

科目ナンバー	C3211	要件	保育必修	授業形態	講義	対象学生	II A II C D
授業科目	家庭支援論						
実施期	後期	単位数	2単位	授業担当者	山村 悦子		
【科目の概要】 保育所等が「入所する子どもの保護者に対する支援及び地域の子育て家庭に対する支援等を行う」役割を担っていることを踏まえて、子育て家庭の置かれている社会環境と多様なニーズ、子育て家庭を支援するシステムや関係機関との連携など、それぞれの子育て家庭に応じた支援とはどのようなものか、グループ討議や発表を通してフィードバックを行いながら、保育者に求められている子育て支援の基本を学ぶ。							
【この科目を通して獲得を目指す力】							【関連DP】
ア	家庭や地域の子育て支援についての基礎的な知識を身に付けている。						1-e
イ	子育てに関する相談・助言での適切な言葉や態度などを身に付けている。						2-b
ウ	支援を要する家庭の状況や課題が分かり、具体的な対処方法を考えることができる。						3-c
エ	子ども・子育て支援の制度改革やこれからの動向に関心をもち、保育者としての資質の向上に努めている。						4-c
【授業の内容】					【実施日】	【授業時間外学習の内容】	
1	本科目のねらい、計画、参加方法、評価等について				月 日	シラバスを読んでおく。	
2	家庭支援の対象と役割				月 日	家庭と家族の違いを調べる。 (0.5時間)	
3	子どもと家庭				月 日	乳幼児期の子どもと家庭についてまとめる。(0.5時間)	
4	保育者による家庭支援・DVD視聴				月 日	保育者の基本姿勢をまとめる。 (0.5時間)	
5	家庭支援の方法としての保育相談支援				月 日	保育所保育指針等で確かめる。 (0.5時間)	
6	特別なニーズを要する家庭への支援				月 日	特別なニーズとは何かを調べておく。(0.5時間)	
7	家庭への個別的な支援				月 日	子どもを取り巻く課題について調べておく。(0.5時間)	
8	在宅子育て家庭への支援・DVD視聴				月 日	支援活動について調べておく。 (0.5時間)	
9	社会的養護を要する家庭への支援				月 日	教科書に出てくる専門用語の意味を予習する。(0.5時間)	
10	家庭支援に関わる法・制度				月 日	最近の法や制度について調べておく。(0.5時間)	
11	子どもと家庭を支える人・DVD視聴				月 日	教科書掲載の専門職の名称を確認しておく。(0.5時間)	
12	子どもと家庭を支える機関				月 日	様々な機関の名称を教科書で確認しておく。(0.5時間)	
13	子どもと家庭を支援する事業・「つどいの広場」参加				月 日	様々なサービスについて調べておく。(0.5時間)	
14	家庭支援や地域の子育て支援の実際				月 日	教科書掲載の事例を読んでおく。	
15	地域の子育て支援の実際				月 日	身近な取組を調べておく。 (0.5時間)	
16	まとめと試験				月 日		
【教科書・テキスト】 よくわかる家庭支援論[第2版] 橋本真紀、山縣文治編 (ミネルヴァ書房)				【成績評価の方法】 受講態度20%、 提出物・発表30%、 試験50%			
【参考書・教材】 「保育所保育指針解説書」 必要に応じて資料プリントを配付する。							
【履修要件及び履修上の注意事項】 家庭支援に関すること、児童福祉に関することについて、新聞記事やテレビ等での報道に関心をもっていること。 グループで取り組む活動においては積極的に関わり他人任せにしないこと。							
【履修上の遵守事項】 30分以上の遅刻をした学生は欠席扱いとし、遅刻3回で欠席1回扱いとする。							
【連絡先・オフィスアワー】 連絡先： オフィスアワー：							

＜チェックシート＞					
指標		基準	レベル1	レベル2	レベル3
ア①	子育てにおける家族・家庭の意味とその役割		「家族・家庭」とは何かを述べるができる。	現代の家族・家庭はどのような状況であるか、述べるができる。	子育てにおける家族・家庭の役割について、具体的に述べるができる。
ア②	保育所や幼稚園、認定こども園における子育て支援		保育所における子育て支援について述べるができる。	幼稚園や在宅家庭の子育て支援について述べるができる。	様々な子育て支援について、身近な子育て支援事業と関連付けて説明することができる。
イ	傾聴の重要性を意識し、相談者自らが答えを見出し、いける相談・援助での対話技術		相談における傾聴の重要性を意識した丁寧な態度が身に付いてる。	相談者に対して指示的、命令的な言葉を使わずに話すことが身に付いている。	相談者の話すペースを尊重しながら、相談者自らが答えを見出し、いけるゆったりとした対応ができる。
ウ①	「少子化」「核家族化」など現代社会における子育てをめぐる課題と子育て支援の在り方		「少子化」「核家族化」とはどのようなことなのかを述べるができる。	「少子化」「核家族化」などの子どもの育ちや、子育てへの影響について述べるができる。	子育てをめぐる課題と子育て支援の必要性について、自分なりの考えを話すことができる。
ウ②	「共働き家庭」や「ひとり親家庭」など特別なニーズをもつ家族と援助		「共働き家庭」や「ひとり親家庭」の増加に伴う問題点やニーズを述べるができる。	「共働き家庭」や「ひとり親家庭」がもつニーズに応じた支援について述べるができる。	関係機関と連携した「共働き家庭」や「ひとり親家庭」がもつニーズに応じた支援について述べるができる。
エ	子ども・子育て支援に関わる法・制度や事業など、我が国の児童福祉の動向		最近の家庭支援のわが国の動向について述べるができる。	子ども・子育て支援に関わる法・制度や事業などについて概略を述べるができる。	子ども・子育て支援に関わる法・制度や事業、これからの動向について概要を説明することができる。
この科目を通して学んだこと、獲得できた力、できなかった課題等					